

# あかとう堂々

発行/飯綱町役場 企画課 地域振興係

Tel : 026 - 253 - 2511 FAX : 026 - 253 - 5055 E-mail : [shinko@town.iizuna.nagano.jp](mailto:shinko@town.iizuna.nagano.jp)

赤東未来創造プロジェクト 集落支援事務局<<赤東コミュニティ消防センター2F>>

携帯 : 080 - 7733 - 5627 E-mail : [shurakushien@gmail.com](mailto:shurakushien@gmail.com)



奈良本 某民家にて  
水の経路を聞くとともに、家の  
佇まいの形を調べる

地元学とは、地域にある自然資源（風・水・土・植生・生き物など）と人材資源（人々・生業・食文化など）を、住民自身が地域外の人の目を借りながら、実際に歩いて調べその内容を基に、これからの地域での暮らし方や保全の仕方を考えていくワークショップです。

8月2日、赤東未来創造プロジェクトのメンバーは、農山村支援センターの事務局長竹田純一先生と供に、地元学を学びながら赤東の集落を巡りました。



〜地元学的考察〜

赤東の集落の成り立ちは必然なり



上 東柏原にて 芋川用水末流地点  
下 上赤塩にて 七面社

「当たり前」で、普段見落としてしまっている価値に気づくと、そこにある資源を活かして暮らしが成り立っているということとは必然で、長い歳月を経て形作られてきた集落に、改めて意味を見出す切っ掛けになります。



毛野 沖の田んぼにて  
夢中で水生生物を探す

地元学の視点で歩き調べてみると、先人たちが継承してきた土地固有の山村文化としての赤東地区の奥深さが理解でき、自然への働きかけと日常的な維持管理の必要性を再認識し、未来に繋げねばと強く思いました。



竹田純一先生を囲んで 「集落は美観のためにつくられてはいない。水がつくる景観といえます」 水の経路を調べることで集落の成り立ちが見えました。

# 赤東今昔物語 ②

参考資料：「赤塩学校百年誌」「三水村の歩み」

第二小学校の歴史は古くてな  
さかのぼること  
明治六年  
※学制が發布されると  
赤塩村と東柏原村の二村が  
合同で創立されたのが  
始まりだ  
その時の名称は  
改新学校だった  
費用は 民間負担で 不足分は  
寄付金で 補われたらしいな



### ※学制発布

明治維新により、「すべての者に近代的な教育を授ける」という方針のもと、日本最初の学校制度を定めた教育法令

赤塩村と東柏原村  
だつてさ  
知つてた？  
その赤と東を  
とつて  
「赤東」  
つて言うように  
なつたんだよ  
そーだつたんだー



その後は制度の変更で  
芋川学校赤塩支校となり、また  
三水尋常小学校赤塩支校と  
なり 明治二十五年  
赤塩尋常小学校となった  
この時 学校火災が  
あつて新築されるまで  
二年間は毛野の  
勝教寺で学習  
したそつだ  
今ほど  
物質に恵まれた  
時代じゃなかった  
が：  
豊だつたなあ



校門前の畑で汲み取り施肥作業 (昭和18年ころ)  
現在も畑作業は同じ場所で行われている

やがて時代は  
軍国主義の傾向が強くなり  
教育もその例外ではあり得ず  
学校行事等はその影響は  
強烈に降りかかった  
学校の名称も  
三水第二国民学校と  
改称される  
つひく  
校庭のポプラ並木で雪合戦(昭和初期)  
今の様な桜並木ではなかった

あつたがき  
平成30年、泉ヶ丘の一区一校という歴史が終わります。それはまた、新しい泉ヶ丘の形が創られる歴史的節目となる年でもあります。  
どんな泉ヶ丘の形がその時始まるのか、今は真っ白です。区民の皆さん一人ひとりの想いが具体的な形となります。一つ一つ石を積み上げるように、しっかりと確実に、一緒に創りあげていきましょう！

今後、検討委員会では、通学方法や魅力ある学校づくりについて具体的な内容の検討をまとめていきます。また、学校職員、PTAそれぞれの検討部会をこれから設置し、課題や要望等についての意見を連携し集約し、統合に向けた実務的な検討を進めていく予定です。  
統合まで検討する課題がまだまだ沢山あります。最終報告書は来年1月。子どもたちがスムーズに新しい環境へと移行出来ることを最優先にした報告書であることを期待します。

## 小学校統合に係る住民説明会開催

8月17日、赤東コミュニティ消防センターに於いて、小学校統合に係る町の基本方針について、説明会が開かれました。

内容については、町の広報紙にも掲載されていますが、現在の4小学校を閉校とし、新たに2小学校を設置するという事。新小学校では、1学級20人前後の規模で、学年に2クラス以上が望ましいため、施設は現在の牟礼東小学校と三水第一小学校を利用。校歌や校章は同じくし、同一の理念を掲げた教育環境を構築すること。そして統合の時期は平成30年4月の開校が目標とのこと、です。